

I 学校の概要・目標及び計画

(1) 建学の精神

「美しい心と技術の調和」

(2) 教育目標

1. 教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人の養成
2. 自らの創意工夫する能力の育成
3. お互いに尊重しながら、目標に向かって努力する力の育成

(3) 校訓

Heart (まごころ)、Head (知識)、Hand (技能、所作) をバランスよく学ぶことで、総合力が身につき、社会に貢献できる有用な人財になれるという法則です。

3Hの法則

1. Heart (まごころ) の育成とは「ホスピタリティマインド、コミュニケーション能力、チームワーク」がある人財の育成。
2. Head (知識) の育成とは「教養、専門知識、ビジネス能力」がある人財の育成。
3. Hand (技能、所作) とは、美しく、可愛く、華やかさを正確にスピーディーに表現できる人財の育成。

※「人財」造語：才能があり、役に立ち、必要とされる貴重な財産となる人。

(4) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等

学校法人群馬県美容学園 理事長 松本 一郎

群馬ブライダルビジネス専門学校 学校長 住谷 知彦

〒371-0024 群馬県前橋市表町 1-28-13

TEL:027-289-5550 FAX:027-289-5551

E-Mail:burabi@gunbi.ac.jp

URL:<http://www.gunbi.ac.jp/>

(5) 学園、学校の沿革

昭和 29 年 財団法人 群馬県高等理容美容学校設立認可

昭和 33 年 財団法人 群馬県高等美容学校設立認可

各種学校群馬県知事認可

	財団法人 群馬県高等美容学校厚生大臣指定認可 【定員 昼間 100 名 通信 200 名】
昭和 4 2 年	財団法人 群馬県高等美容学校厚生大臣定員指定 【定員 昼間 200 名 通信 400 名】
昭和 5 6 年	財団法人 群馬県美容高等専修学校設置 群馬県知事認可 【定員 美容高等課程 200 名 別科 400 名】
平成 9 年	学校法人群馬県美容学園設立
平成 1 0 年	群馬県美容専門学校 群馬県知事認可 【定員 美容専門課程 400 名 別科 240 名】 厚生大臣指定養成課程及び定員指定 【定員 昼間課程 400 名 通信課程 240 名】
平成 1 1 年	現在地に新校舎移転
平成 2 0 年	群馬県美容専門学校 新学科設置 トータルビューティー科 【定員 女子 120 名】 新学科設置に伴い校舎およびホール増設
平成 2 2 年	群馬ブライダルビジネス専門学校 群馬県知事認可 ブライダルスペシャリスト学科設置 【定員 商業実務専門課程 80 名】
平成 2 3 年	群馬県美容専門学校 新学科設置 ビューティースタylist学科 【定員 男女 60 名】 エステティック学科 【定員 女子 60 名】
平成 2 8 年	群馬県美容専門学校 新学科設置 ビューティテクニカル学科 【定員 男女 40 名】
平成 2 8 年	アーツ サウンド ビジュアル専門学校 群馬県知事認可 文化・教養専門課程 舞台音響照明学科 【定員 男女 40 名】 ビジュアル・サウンド学科 【定員 男女 40 名】 ライブ・イベント学科 【定員 男女 40 名】
平成 2 9 年	群馬県美容専門学校 新学科設置 サスーン スクールシップ ヘア stylist 学科 【定員 男女 80 名】

II 各学科等の教育

(1) 学科名、入学定員数、入学者数、在学総数

H29. 5. 1 現在

学科名	入学定員	入学者数	在学総数
ブライダル・ウエディング学科	20 名	16 名	28 名

(2) 各学科概要等

各学科の概要につきましては、ホームページのコース紹介や学校パンフレットに記載しております

ので、そちらをご確認くださいませ。

群馬ブライダルビジネス専門学校ホームページ (<http://www.gbbc-ac.jp/>)

(3) 学科カリキュラム

ブライダル・ウェディング学科

	授業科目	1年次		2年次		総授業 時数	総単位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	ウェディングスペシャリスト論	80	5			80	5
	ウェディングプランナー論	40	2	20	1	60	3
	ブライダルマーケティング			30	2	30	2
	ホテルビジネス論Ⅰ	60	4			60	4
	ホテルビジネス論Ⅱ			60	4	60	4
	レストランサービス実務Ⅰ	60	3			60	3
	レストランサービス実務Ⅱ			60	3	60	3
	ドレスコーディネーター論			30	2	30	2
	フラワー装飾作業法	20	1			20	1
	フラワー装飾理論	20	1			20	1
	リゾートウェディング研究			15	1	15	1
	リゾートホテル・シティホテル研究			15	1	15	1
	ホテルビジネス実務Ⅰ	30	2			30	2
	ホテルビジネス実務Ⅱ			30	2	30	2
	日本旅館研究・おもてなし実務Ⅰ	30	2			30	2
	日本旅館研究・おもてなし実務Ⅱ			30	2	30	2
	葬祭セレモニー	60	4			60	4
ブライダルゼミ			20	1	20	1	
	小計	400	24	310	19	710	43
教養科目	秘書実務Ⅰ	60	4			60	4
	秘書実務Ⅱ			60	4	60	4
	コンピューターサービスⅠ	60	3			60	3
	コンピューターサービスⅡ			60	3	60	3
	TOEICⅠ	60	4			60	4
	TOEICⅡ			60	4	60	4
	ホテル英会話Ⅰ	60	4			60	4

	ホテル英会話Ⅱ			60	4	60	4
	中国語会話Ⅰ	60	4			60	4
	中国語会話Ⅱ			60	4	60	4
	カラーコーディネート			60	3	60	3
	キャリアデザイン	15	1	15	1	30	2
	小計	315	20	375	23	690	43
実習演習科目	ブライダルコーディネーター実習Ⅰ	30	1			30	1
	ブライダルコーディネーター実習Ⅱ			30	1	30	1
	ファッション&ビューティー実習	30	1			30	1
	リゾートウェディング実地研修	30	1	30	1	60	2
	海外ウェディング実地研修			40	1	40	1
	レストランサービス実習Ⅰ	60	2			60	2
	レストランサービス実習Ⅱ			60	2	60	2
	フラワー装飾作業実習	30	1			30	1
	フラワー装飾実習	30	1			30	1
	インターンシップ	30	1			30	1
	小計	240	8	160	5	400	13
択科目 必須選	ブライダルファッションコーディネート			90	3	90	3
	ブライダルフラワーコーディネート			90	3	90	3
	料飲サービス			90	3	90	3
	販売士論			90	3	90	3
	小計			90	3	90	3
	合計	955	52	935	50	1890	102

(4) 進級及び卒業要件

【学修評価方法】

学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。

S：特に優秀な成績・・・100～90点

A：すぐれた成績・・・89～80点

B：一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点

C：合格と認められる最低の成績・・・69～60点

F：不合格・・・59点以下

全学科とも試験は、以下のとおりとする。

1年次 前期：期末試験 後期：進級試験

2年次 前期：期末試験 後期：卒業試験

【進級・卒業要件】

進級時・・・1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。また、1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

卒業時・・・2年次以上在学し、学科に定める授業科目をすべて履修し、102単位を修得したもの。また納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

(5) 取得資格

学科名	資格・検定
ブライダル・ウエディング学科	認定ウエディングスペシャリスト・認定ウエディングプランナー・認定ドレスコーディネーター、レストランサービス技能検定、フラワー装飾技能検定※、ABC検定、ホテルビジネス実務検定、MO S検定、TOEIC、パーソナルカバリスト検定3級、販売士3級、秘書技能検定、中国語検定HS K、おもてなし検定

※3級は1年次の必修となります。2級は2年次のセクションカリキュラム対応となります。

(6) 卒業者数、卒業後の進路

【平成28年度卒業生実績】

学科名	卒業者数	就職者数	進学者数	就職進学率
ブライダルスペシャリスト学科	15名	15名	0名	100%

主な就職先については、ホームページや学校パンフレットに記載しておりますので、そちらをご覧ください。

群馬ブライダルビジネス専門学校ホームページ (<http://www.gbbc-ac.jp/>)

III 教職員

群馬ブライダルビジネス専門学校

学校長	事務局長	広報部長代理	事務員	教務部長	教員(専任)	教員(兼任)	合計
1名	1名	1名	1名	1名	2名	12名	14名

IV キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

1. 個別指導

就職担当者と担任により学生一人ひとりと納得できるまで話し合い、将来の方向性を定めてい

きます。その希望をもとに、ブライダル関連企業についての研究や就職に対するサポートを個別に実施していきます。

2. 就職対策セミナー

本校のキャリア・サポーターや企業との連携により業界の形態や動向、求められる人材などの情報のレクチャーや、就職活動の流れ、履歴書・エントリーシート作成指導、就職後に必要な技術やマナーなどのアドバイスをを行います。

3. インターンシップ

本校では2年次にインターンシップを実施しています。業界の仕事を肌で感じ将来の職業に対する理解を深めます。

(2) 実習・実技等の取組状況

本校では、以下の企業と教育連携を行い、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的に指導を行っております。

<教育連携企業一覧>

授業科目名	連携企業名	対象学科
ブライダル コーディネーター実習	冠稲荷神社 宮の森迎賓館 ティアラグリーンパレス	ブライダル・ウェディング学科

(3) 就職支援等の取組状況

1. 企業特別講話の実施

ブライダル、ホテル関連業種の担当者に来校していただき、会社概要や募集の詳細、各職種における現場の体験談など業界を目指す学生にとって貴重な講義を実施しています。毎年、多数の企業様に来校していただいています。

2. 就職情報の閲覧環境整備

求人票やガイダンス情報、企業パンフレット等の専用スペースを設け、常時閲覧できる環境を整えております。

V様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

4月	入学式 健康診断 ボーリング大会
5月	ハワイリゾートウェディング研修
6月	校外研修
7月	ブラビススペシャルデー
8月	夏休み
9月	インターンシップ 学園祭(三校合同) ビューティウェディングビジュアルフェスティバル(三校合同)

10月	
11月	
12月	クリスマスパーティー
1月	
2月	卒業制作発表会 GUNMA WEDDING AWARD
3月	卒業式

(2) 課外活動等の状況

通年(週1回)	前橋駅から学校周辺における美化運動
---------	-------------------

VI 学生の生活支援

(1) 学生支援への取組状況

1. 就職に関する支援
 - ・担任と広報・キャリア部によるサポート体制
 - ・インターンシップを実施
2. その他の支援
 - ・学費など経済的な支援体制として奨学金貸与機関の斡旋
 - ・年1回、健康診断を実施
 - ・アルバイト求人を公開

VII 学生納付金及び修学支援

(1) 学生納付金の取扱

ブライダル・ウェディング学科

	入学金	授業料	施設設備費	実習・研修費	教材費・諸費	合計
1年次	100,000円	580,000円	200,000円	270,000円	228,000円	1,378,000円
2年次		580,000円	200,000円	170,000円	31,000円	981,000円

修学支援の内容

1. 表彰制度

最優秀学生賞、優秀学生賞、理事長賞、副理事長賞、各協会賞など卒業生対象に表彰しています。
2. 新幹線通学支援制度

本校が定める遠隔地から通学した場合、定期代を一定料金補助する制度です。
3. 家賃支援制度

本校が定める遠隔地から通学が困難と認められた場合、家賃の一部を補助する制度です。

資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(単位:円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納入金収入	272,481,076
手数料収入	5,466,000
補助金収入	9,431,000
付随事業・収益事業収入	921,545
受取利息・配当金収入	2,054
雑収入	15,529,828
前受金収入	239,835,122
その他の収入	111,567,155
資金収入調整勘定	△ 220,485,076
前年度繰越支払資金	527,701,584
収入の部合計	962,450,288
支出の部	
科目	金額
人件費支出	166,935,948
経費支出	120,954,705
施設関係支出	46,603,800
設備関係支出	3,506,652
その他の支出	118,219,186
資金支出調整勘定	△ 2,712,737
翌年度繰越支払資金	508,942,734
支出の部合計	962,450,288

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(単位:円)

		科目	金額
		教育活動収入の部	学生生徒等納入金
	手数料	5,466,000	
	経常費等補助金	9,431,000	
	付随事業収入	921,545	
	雑収入	15,529,828	
	教育活動収入計	303,829,449	
事業活動支出の部	人件費	166,935,948	
	経費	198,003,439	
	教育活動支出計	364,939,387	
	教育活動収支差額	△ 61,109,938	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	2,054	
	その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計	2,054	
事業活動外支出の部	借入金等利息	0	
	その他の教育活動外支出	0	
	教育活動外支出計	0	
	教育活動外収支差額	2,054	
	経常収支差額	△ 61,107,884	
特別収入の部	資産売却差額	0	
	その他の特別収入	0	
	特別収入計	0	
事業活動外支出の部	資産処分差額	0	
	その他の特別支出	0	
	特別支出計	0	
	特別収支差額	0	
基本金組入前当年度収支差額		△ 61,107,884	
基本金組入額合計		△ 50,110,452	
当年度収支差額		△ 111,218,336	
前年度繰越収支差額		△ 519,831,563	
翌年度繰越収支差額		△ 631,049,899	
(参考)			
事業活動収入計(旧) 帰属収入		303,831,503	
事業活動支出計(旧) 消費支出		364,939,387	

貸借対照表

平成30年3月31日

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	2,109,918,700
流動資産	521,109,948
資産の部合計	2,631,028,648
負債の部	
科目	金額
固定負債	0
流動負債	296,691,751
負債の部合計	296,691,751
純資産の部	
科目	金額
基本金	2,965,386,796
繰越収支差額	△ 631,049,899
純資産の部合計	2,334,336,897
負債及び純資産の部合計	2,631,028,648

平成 30 年 8 月 23 日

平成 29 年度
学校関係者評価委員会
自己点検・自己評価報告書

学校法人群馬県美容学園

群馬県美容専門学校

ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校

アーツ サウンド ビジュアル専門学校

I. 平成 29 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な

目標や計画についての評価 報告

1. 国家試験や各検定の合格率の維持・向上を図る

国家試験や各検定では全国平均を上回る高水準を維持しているが、さらなる向上を目指す為に試験対策授業の強化に取り組む。

2. 入学者数の拡大を図る

学生支援を充実させることで競合校との差別化を図ることや、オープンキャンパス・進路ガイダンス・模擬授業の講師派遣・メディアを活用した情報発信など、広報活動の強化をし、入学者数の拡大を図る。

3. 就職率（進路決定率）の維持・向上を図る

就職セミナーや就職ガイダンスを実施することで、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育成する。

4. 退学者・休学者の低減を図る

退学者・休学者の増加は広報活動や財務基盤に影響を与える恐れのある重大な問題である。よって、該当学生への個別対応力強化（保護者との連絡強化、面談回数の増加、学校全体としての対応）、勉学意欲の維持、指導法の改善などの対策を講じて、退学者・休学者の低減に努める。

5. 地域貢献に努める

地域社会貢献の為にボランティア活動に積極的に参加する他、生涯学習にも目を向け生涯学習社会の実現に貢献する。

1. 国家試験や各検定の合格率の維持・向上を図る

【美容師学科】（群馬県美容専門学校）

美容師試験では、新しい採点基準に沿った指導ポイントや注意点など、教員間の打ち合わせを多く行い、全員合格を目指したが、残念ながら達成にはいたらなかった。来年も引き続き、美容師試験対策を強化し、学科面の強化や、クラスのメンバー構成を考え、合格率アップを引き続きねらっていく。また、その他の検定も学科試験対策を、繰り返し、根気よく対応しながら、全体的な向上を図っていききたい。

【エステティック学科】（群馬県美容専門学校）

「CIDESCO」試験では、担当教員・講師による試験対策を再度思案した。合格のガイドライン・試験傾向など情報の共有化を図り、指導力の向上に努めることで理論・実習とも細心の指導につながり全員合格の結果を得られた。学生には各種検定に関してエステティックとの関連と取得の重要性を認識させ、複数の資格取得を促した。

「CIDESCO」を含め、他検定においても全員合格を目指すよう指導に努めたい。

【ビューティスタイリスト学科】（群馬県美容専門学校）

各コースとも主なる資格の取得に対し、合格率の向上に努めた。また、業界・職種との関連性を認識し、更に上級資格を目指すよう促した。コスメコース・ウエディングコースにおいても、メイク検定・ブライダル関連の検定を視野に入れ、サロン業務で必須とされる知識、技能の習得に向けて指導をおこない資格取得に努めた。

【ブライダルスペシャリスト学科】（ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校）

秘書検定の合格率が低いが、授業シラバスの見直し、模擬試験、実習など多くし体得できるように構成したが、結果に繋がらなかった。今後は3級受験で自信を付け2級に向けたモチベーションの維持をはかり望むようにする。また、学生では難しいと言われている、国家検定のフラワー装飾技能検定の2級合格者をフラワーコーディネーターとして輩出できた実績、他100%の合格率の科目に関しては引続き継続して維持できるような指導を行う。

2. 入学者数の拡大を図る

【広報・キャリア部】

《校外ガイダンス 前年度対比》

校外ガイダンスでは前年度に引き続き「会場ガイダンス」「学校別・個別ガイダンス」を主に高校卒業年次に対する直接的な学生募集と「職業・分野・系統別ガイダンス」「体

験授業」といったキャリア授業や職業理解を目的とした実質 4 系統のガイダンスで上記の通り参加を行った。群馬県美容専門学校に関しては前年度より参加回数が増えているものの、参加人数では前年度を割り込んでしまった。競合校の影響に加え、美容系分野の人気の低迷も大きくあり、業界の人気回復も含め今後の課題と考えている。またウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校では参加数・人数と共に昨年度を上回った。アーツサウンドビジュアル専門学校についても学校周知の向上により、高校・学生より希望校として指名が挙がる回数も増え、参加回数・人数ともに増加となった。ここでの接触や印象で来校への有無が決まってくることを改めて受け止め、校外の募集活動へ臨んでいきたい。

《校内イベント 前年度対比》

平成 29 年度では実施回数を増加したものの、参加人数については前年度比では群馬県美容専門学校、ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校ともに減少となってしまった。アーツサウンドビジュアル専門学校については前年度の約 2 倍の増加と校外イベントに引き続き好調となっている。また「学園祭」「ヘア&ブライダルショーイベント」を 3 校合同で開催、各校それぞれの専門分野「美容」「ブライダル・ホテル」「音響・照明・映像」がコラボレーションし、参加した高校生だけでなく在校生も学園全体での一体感が醸成できる場としても機能するイベントを目指した。

《広報費 前年度対比》

広報費では「ガイダンス」関連で学年別での値段交渉や群専各・高校主催による独自ガイダンスの増加により参加回数は増えたものの支出としては抑えられた結果となった。「JR 中吊り広告」については学校周知とオープンキャンパス等のイベント告知を目的に今年度は掲出路線や掲出枚数の見直しを図ることで、支出を抑えている。また「HP 改修・修正」として HP 管理業者の変更に伴い、学園 TOP 画面の作成やスマホ対応への最適化、申し込みフォームの改修等を行いビジュアル面や使いやすさ、オープンキャンパスへの動線への強化を行った。

《入学者数 前年度対比》

アーツサウンドビジュアル専門学校では開校に伴い学校名の周知や浸透に加え、1 期生の入学により前年度比で大きく入学者を増やすこととなったが、群馬県美容専門学校、ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校では共に前年度を大きく下回る結果となってしまった。特に本学園での最大定員数の学科である群馬県美容専門学校美容師学科では前年度に比べて低い数字となってしまった。この背景には「美容師人気の低下（憧れや興味はあるが職業には考えない層）」「県外競合校（都内や大宮方面）への流出」に加え、昨年度からも続く「大学志向の進路指導」「高校卒業→就職の増加」があると思われる。現状のオープンキャンパス参加者のアンケート結果では概ね好評を得られてはいるものの、今後は更なるイベント満足度の向上を図り、「楽しかった」に留まらず、「入学したくなる」進学検討への温度感向上へと繋がる学校イベントの構築を目指

していく。

3. 就職率（進路決定率）の維持・向上を図る

【美容師学科】

校内での就職ガイダンスや企業主催の説明会等、積極的に参加させ、各担任及びキャリア部の細かいアドバイスを個々に行う事で、就職に関する意識づけに努めた。今後も引き続き、企業及び店舗が求める人材像を研究し、個人個人にあったアドバイスが提供できるよう教職員全体で努めていく。

【エステティック学科】

企業やサロンによって業務に特色があることを指導し、自分の希望する企業選択が出来るようサポートにあたった。また企業（人事担当者）と連携をとり、校内での会社説明会を実施し、説明会の直後に一次選考を実施することで早期内定につながった。今後も校内での説明会をより多く実施し、早期内定につなげていきたい。

【ビューティスタイリスト学科】

各コースにより求人数は変動があるため、担任だけでなくコース担当者も求人情報の収集を心がけ、学生への就職相談をおこなった。希望する職種や選択枠を広げられるよう努め、進路決定のサポートに努めた。内定時期には個々に違いがあったが、卒業時まで全員内定が決定した。他のコース担当、就職サポートセンターとも情報を共有し、協力しながら、幅広い提案が学生へできるよう早めに対処していきたい。

【ブライダルスペシャリスト学科】

ブライダル関連企業の就職活動は早いので、遅れないように情報収集や準備、指導を徹底した。企業様における特別授業やセミナーを開催。弱点と思われたグループディスカッションなどの練習を、繰り返し行い自信をもって活動できるように務めた。活動状況には個人差があるが、早めの活動を促し、学生一人一人のタイミングに応じたサポートを行うなど、引き続き適切な指導を行う。

【広報・キャリア部】

群馬県美容専門学校では各美容系サロンの対応・情報交換に加え、平成29年度の求人情報の受付・整理・掲示、校内での就職ガイダンスを年間5回実施した。また群馬県美容専門学校、ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校両校でキャリア形成を目的とした授業を実施、就職活動へと繋がる自己理解と職業研究を行った。

《平成 29 年度 就職率》

今年度は群馬県美容専門学校、ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校ともに就職希望者（進学・その他進路を除く）については就職率 100%となった。専修学校の責務の一角でもある「専門知識・技術の習得～資格取得～就職」の出口の部分で 100%の数字が公表できることは広報的にも大きなアピールとなり、こちらは教務とも連携し、ぜひ来年度も継続して達成していきたい。また前年度は遅れがちだった学生への就職情報公開を今年度は求人票・説明会内容の精査し、締め切り期限や学生希望状況を考え、順次公表を行った。

4. 退学者・休学者の低減を図る

【美容師学科】

各クラスで 4 月中には個人面談を行い、その後もボーリング大会やイベントを開催し、コミュニケーションが自然に取れる環境を工夫した。また、休みが続いたときは学生、保護者へ連絡、相談をし、後に引かないよう早目の対応を心がけた。引き続き、退学率 0%を目標に努めていきたい。

【エステティック学科】

適時面接を行い、学生の現状を把握するよう心がけた。人間関係のトラブルや意欲の低下に繋がらないよう、メンタルな部分のサポートを行った。退学者ゼロを維持出来なかったことを反省点とし、今後も細心の学生指導に努めたい。

【ビューティスタイリスト学科】

高校卒業時の出席状況など把握し、教員全員で情報を共有し、面談、保護者への連絡、聞き取りなどをこまめに行うよう努めた。入学前に何か不安要素（欠席状況等）がある学生については、いち早く面談し学生の個性を早く理解するよう努め、保護者と連絡をとりながら、早い対処をしていく。

【ブライダルスペシャリスト学科】

週に一回、ホームルームを設け学生の様子を観察、下校時などには積極的に学生とのコミュニケーションを取り、状況の把握に努めた結果、退学率の低下に繋がった。また、早い時期にボーリング大会や校外研修など開催し交流を深められるよう計画、「楽しい」を感じる雰囲気作りとモチベーションのアップを図り楽しく学んでもらう。

5. 地域貢献に努める

【美容師学科】

自治体の公式イベントや、さまざまなボランティアに積極的に参加し、学んだ技術や施設を最大限に活用し、社会貢献に対する意識を高めることができた。今後も引き続き、外部への発信を促し、地域貢献に努めていきたい。

【エステティック学科】

積極的にボランティア活動をおこない、施設の方々にも喜んで頂くことで、学生のボランティアへの士気が高まった。エステティックの技術で社会貢献ができることの意義を学ぶことができた。ソシオエステティックの推進活動につとめた。

* ソシオエステティック・医療・介護などの現場で行うエステティック技術

【ビューティスタイリスト学科】

ボランティア活動への積極的な促しをおこない、社会貢献に対する意識を高めることができた。反響も良く学生の士気が高まった。自分の貢献できることを幅広く考え、コースに限らず、積極的に参加させるよう促していきたい。

【ブライダルスペシャリスト学科】

開校時から、通学路や校舎周辺のゴミ拾い（美化運動）を学生自治会で継承している。今後も、できる事から積極的に取り組んでいく。

【広報・キャリア部】

地域貢献における学生課外活動においては例年実施している行事の減少はあったものの、3校3分野になったことで今後は学園として多方面からより包括的にイベントに関われるようになった。学生課外活動は実践的な現場教育として広報的側面としても強く捉えており、重要視している。

また今後も引き続き関係各団体や高校とのコミュニケーションを深め、先方からだけでなく、積極的にこちらからの提案でのイベント実施を目指していく。

《平成 29 年度 参加協力イベント》

参加・協力イベント名	主催	実施日	参加学生
サンライフ問屋町 エステティックボランティア	社会福祉法人 陽光会	9月14日（木）	群馬県美容
風のまち音楽祭 ステージスタッフボランティア	風のまち音楽祭 実行委員会	9月30日（土）	アーツサウンド ビジュアル

介護ホーム「上陽」 エステティックボランティア	J A 前橋市	10月10日（火）	群馬県美容
しろがね学園 フェイスペイント・ エステティックボランティア	群馬県立しろがね 特別支援学級	10月14日（土）	群馬県美容
大泉町「OIZUMI DREAM STONE」 ステージ参加・ ヘアメイクボランティア	大泉町	12月9日（土）	群馬県美容
通学路・周辺清掃	ウェディング・ホテル& ツーリズム専門学校	毎週水曜日	ウェディング・ホテル & ツーリズム

Ⅱ. 平成 29 年度 評価項目の達成及び取組状況 報告

1 教育理念・目標

【美容師学科】（群馬県美容専門学校）

専門分野の特色、各分野の求める人材像等を明確にし、引き続き、入学案内やガイダンス、HP 等で、教育理念や目標の周知に努めるとともに、業界の動向やニーズの把握を積極的に取り組んでいく。

【エステティック学科】（群馬県美容専門学校）

パンフレット、ガイダンス、HP などにおいて常に「教育理念」を発信し、特性は明確になっている。また業界の動向やニーズに合わせ目標も定まっており、継続して学生・保護者への周知に努めていきたい。

【ビューティスタイリスト学科】（群馬県美容専門学校）

業界関係のセミナーなどに積極的に参加し、情報収集をおこなっている。また理念、育成人材像などの周知について、説明会参加者以外の保護者に対しては、学生本人の伝達やパンフレット、HP などで理解されていると認識する。

【ブライダルスペシャリスト学科】（ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校）

教育理念や目標は、重要な考えであり共通の認識を持ち、折に触れ取り上げ確認をしている。また、育成人材像が、業界のニーズに向けて方向づけられるように、業界の新聞やホームページ、教育課程編成委員会などで情報収集を行い、動向に敏感に取り組んでいる。このような取り組みは学生から保護者まで情報の共有をするように努めている。

【広報・キャリア部】

少子化に加え、大学全入化や高卒就職率の向上など高校生を取り巻く進路環境は大きく変化している。専修学校における職業教育の役割や本学園での教育目標・人材育成を適切に発信し、競合校との差別化はもちろん、実践的な教育で大学との明確な違いをアピールしていく。

【事務局】

学園における理念や目的、各校における目的等は、明確に定まっているので、より良い人材育成に取り組めるように努力を継続していく。今後も各業界の動向を正確に把握し、ニーズに沿った教育を目指し、保護者にも様々なタイミングで周知を心がける。

2 学校運営

【美容師学科】

学科内での定期的な状況報告や伝達をこまめに行い、共通認識をもちながら、学生指導、及び保護者や業界関係者等への対応も、学年問わず行えるように努めた。また、学生や保護者とのコミュニケーションに努め、学校運営の理解を深めるとともに、信頼関係の構築に引き続き進めていく。

【エステティック学科】

コンプライアンス体制の整備や全体会議（学校全体）における情報の共有化は、個人的にも、また学科内においても意識の向上がみられるため、継続していく。また個人の意識として、学校運営に携わっている自覚を再認識し、継続してコンプライアンスの理解と徹底をおこなう。

【ビューティスタイリスト学科】

利害関係者等との意見の相違などについては、教員間で情報を共有し、保護者、学生との面談を増やし、相互理解を深めるよう努めている。学生や保護者との信頼関係を構築できるよう、タイムリーで情報共有し、教員全体で真摯に対応するよう引き続き努めるようにする。

【ブライダルスペシャリスト学科】

教員、非常勤講師との情報の共有化とシステム整備により業務の効率は上がっている。また、保護者からの問い合わせに、教員誰でも対応できるよう情報の共有化、学生や保護者との信頼関係を構築、真摯に対応するよう引き続き努める。
今後も引続き報告・連絡・相談を徹底する。

【広報・キャリア部】

関連業社やその他利害関係者については状況に応じた適切な対応ができるよう部署内でも定期的な会議と日々の連絡・相談を行い対処している。また具体的な保護者からの相談や外部からの問い合わせにも備え、他部署との情報のすり合わせ、コミュニケーションを密に取ることを今後も心掛けていく。

【事務局】

学校組織は整備されているので、事業計画に基づいた運営が継続できるよう心掛け、課題が見つかったら事務会議等で意見を出し合い、問題点を共有し改善していく。利害関係者からの不満が出る前に学校に対しての理解を深めていただけるよう環境づくり

をしていく。

3 教育活動

【美容師学科】

学生達の特徴を教員全体で把握し、指導方法の研究や、共通認識を再確認し、全体の統一及び、個人に合わせた指導方法の情報交換を行い、技術指導の幅を出せるよう努めた。また、業界の流れ、ニーズを把握し、新しい技術、教材など常に関心を寄せ、授業内容の改善に努めていきたい。

【エステティック学科】

関連部門への情報収集を密に行い、企業が求める学生像を理解することで学生指導に反映させる。実効性のある研修・講習に参加し、個人スキルを向上させる。学んだスキルは学校全体へフィードバックし、教員間の共有を心がける

【ビューティスタイリスト学科】

学生の特徴や授業関心度など、担当教員からの状況を聞きながら、柔軟なカリキュラム、シラバス作成に努めている。また業界における最新技術や流行に着目し、カリキュラムへ反映させていくと同時に常に新しい技術への挑戦と取得に目をむけ、講習会参加や学校内勉強会をおこなっていく。

【ブライダルスペシャリスト学科】

業界の流れを把握し、企業などの委員からなる「教育課程編成委員会」を年に2回開催、意見、提案等は教育課程の編成に役立てている。また、授業内容の改善や確認の目的で、授業評価を年1回実施し、担当講師にフィードバックし授業構築に役立てている。

4 学習成果

【美容師学科】

学習の評価に関して、公平な採点が行えるよう、採点基準の申し合わせ、明確な到達目標を確認しながら、引き続き進めていく。また、学習成果の発表や、イベント、コンクール等の参加を促し、在学中から社会的な活躍につなげていけるように勧めていく。また、卒業生とのコミュニケーションを多くとり、卒業生の活躍状況を積極的に在校生へ発信し、職業に対する意識向上に引き続き努めていきたい。

【エステティック学科】

口頭試問を行い、理論に基づいた実習を心がけ、個々の学生の理解度の確認と必要とされる技術レベルまでの指導に努めている。今後も、理論に基づいた実習を指導し、検定に備えたい。

【ビューティスタイリスト学科】

学生への評価基準等は授業・実習で伝達できている。目標、評価基準等、学生にしっかり提示するよう努め、方向性を見失わないよう、将来への展望を持たせる努力をしていく。

【ブライダルスペシャリスト学科】

授業や実習、学校行事をなどで3H（Heart・Head・Hand）の育成に努め、進路・就職支援は計画的、継続的に1年次から取り組んでいる。評価に際しては、明確な基準に基づき、公平に評価が行えるよう継続していく。卒業生が来校した際には、後輩に向けてメッセージや、学生の時に身につけておいた方が良いスキル、苦労話などを話して頂き就業時のイメージをつけ、目の前の事から取り組む姿勢を養う。

【サスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科】

卒業時には就職先の美容室で即戦力となる学生の技術力を身につけさせるため、年2回の定期試験の他に、細かい目標を定め技術確認を行う。放課後対応も定期的に行い学生が自ら積極的に練習できる環境を与える。

【舞台音響照明学科】

各教員より評価基準の説明を行っている。特に実習、校内イベントでは、技術以外の所作などを取り入れた評価を行うと学生にアナウンスしている。知識、技術力はもちろん、人間力をしっかり身に付けられるよう努めていく。

5 学生支援

【美容師学科】

学生面談を多くし、コミュニケーションを多くとる事で、学生の生活環境の把握及び、個々に適した支援をアドバイスできるよう努め、充実した学校生活が過ごせるよう、今後も継続していく。また、卒業生の支援についても、求人状況等、就職に関する情報を提供できるよう努めていく。

【エステティック学科】

メンタルな部分から体調を崩す学生が多く、適切な対処が必須と感じる。専門的な視点で指示・指導する組織体制が必要となるため、常に情報収集に努め、即時対応にあた

る。

【ビューティスタイリスト学科】

面談や日々の学校生活において、学生の些細な変化にも対応し、サポートに努めた。求人情報や業界の情報など、学生にも積極的にさまざまな媒体から情報収集を促し、学校側からも提案できるよう努めていく。

【ブライダルスペシャリスト学科】

1年次からキャリア教育授業を通して将来の目標設定、自己分析、就職活動への準備などに取り組んでいる。週に1回LHR（ホームルーム）を行い、学生の状況把握と情報を共有し、必要に応じて面談をする体制を継続する。また、学生とコミュニケーションを多く取れるように工夫し、相談しやすい雰囲気作りに努める。また、卒業後の再就職相談等の対応は、今後も引き続き継続していく。

【広報・キャリア部】

キャリア形成・職業理解の目的で高等学校への体験教育や出張授業に対応している。特にアーツサウンドビジュアル専門学校については専門施設・知識を有する県内唯一の学校で個人団体問わず高校教職員からのアプローチの機会も多い。引き続き地域との連携を図り、学校周知の一環としても取り組んでいきたい。

【事務局】

健康診断の実施やキャリアサポート、奨学金制度があり学生支援体制は整備されている。この学生支援を充実させることも退学者の減少や入学者増加に反映されると考えられるので事務局内でも定期的に話し合い支援体制の確認を行っていく。

精神的な病気を抱える人が増加している現代社会で、学生に寄り添った支援ができるように現在の体制を維持しつつ改善点があれば見直しを図っていきたい。

6 教育環境

【美容師学科】

インターンシップや海外研修など学外で行う研修も充実しており、学生達は貴重な時間を過ごしている。海外研修においては、今後も積極的に参加を促し、視野を広げ多面的な知識、技術に触れるチャンスを今後も提供していきたい。

【エステティック学科】

AEDの設置場所と操作の再確認をおこなう。校内安全の確認と保健室の環境維持を保

つ。

【ビューティスタイリスト学科】

海外研修に参加する学生が年々少なくなり、貴重な経験をもつチャンスが減ってきてしまっているように感じる。海外で学ぶ事の大切さや、海外の技術情報を発信していきたい。

【ブライダルスペシャリスト学科】

学校の施設全体の管理、整備、掃除、メンテナンス等、適切に行っている。インターンシップは学内での学びを基本に職場環境の理解、社会への対応を目的に実施している。海外研修旅行は全員で海外リゾートウエディングをハワイで学ぶ。現地ではウエディング研修、異文化の理解を深め、グローバル社会への対応を目的にしている。

【広報・キャリア部】

本学園の充実した専門施設設備は近隣の競合校、またビル型校舎の多い都内学校との比較検討での大きなアピールポイントと捉え、積極的に広報活動を行っていく。

【事務局】

教育環境の施設設備は十分に整備されているが、校舎老朽化等で修繕が必要となる設備も出てくると予想されるので引き続き管理・点検を徹底していく。定期点検はもちろんであるが設備等において日々気づくことはチェックを行い、共有し、事務局員で危機管理を徹底していく。

7 学生の受入れ募集

【美容師学科】

学校案内や募集要項等に加え、オープンキャンパスやイベントを教員や学生も含め、全体で行い、学校理解に努めている。また、SNS や HP を通して、日頃の学校生活を発信し、タイムリーな情報提供を心がけている。学力不足や障害については、引き続き、入学後の面談や調査票等で把握を行い、適切な対応を心がけていく。

【エステティック学科】

学校案内、募集要項に関しては教員全体で確認し、全学科・全コースとも理解のもと学生募集をおこなえるよう努めている。授業や設備などは実際に体験して頂き、美容に対して関心を深めてもらう。

【ビューティスタイリスト学科】

学校案内、募集要項に関しては教員全体で確認し、全学科・全コースとも理解のもと学生募集をおこなえるよう努める。3コース（メイク・ネイル・ブライダル）の分野から構成され、トータルビューティを学ぶことの利点を発信する。

【ブライダルスペシャリスト学科】

ブライダル業界の人氣が低迷しているように感じるが、各業界の仕事の魅力ややりがいなどをしっかりと伝えていく。また、他校との違いなどをアピールし各専門分野の職員指導のもと、魅力が伝わるようなオープンキャンパスを催行していく。

【広報・キャリア部】

本学園3校の特色、多彩な学科・コース設定といったポイントは校内オープンキャンパス、校外ガイダンスにおいても適切に理解されていると感じている。ここから一歩踏み込む為に各高校や個々の学生が何を求めているのかを理解し、丁寧にフォローしていくことで信頼・信用される学生募集活動を日々心掛けていく。また経済的な問題で進学を断念せざるを得ない学生に向けて、各高校により進学時の学費納入についての理解にかなりの差がある現状を踏まえ、本学園の学生支援制度や奨学金はもちろん、日本学生支援機構で今年度より開始となった給付型奨学金を始めとする公的な奨学金制度についても理解を広めていく。

【事務局】

学生募集に関して少子化の影響等もあり伸び悩んでいる面もある。事務局として電話対応での会話をより工夫して、本校の良さを伝え、また、カリキュラム等も正確に理解し入学希望者に興味を持ってもらえるように取り組んでいきたい。

8 財務

【事務局】

毎年公認会計士監査や学園監査は計画的に適正に行われている。学園の財務基盤を継続的に安定に導けるよう、学生数を増やすことやできる限りの経費削減に努め、予算管理を適正に行っていく。

9 法令等の遵守

【事務局】

適正な学校運営を行うため自己点検・評価や内部監査に基づき提案された問題点や

改善点は、法令を遵守し早急に対応できる体制を維持する。

10 社会貢献・地域貢献

【美容師学科】

各自治体の大きなイベント、ボランティア活動への取り組み等、今後もできるだけ実施していく。また、ボランティアなど、さまざまな年齢層のお客様と接する機会が多く、幅広い知識や対応を学ぶ環境を勤めていきたい。

【エステティック学科】

地域に密着したボランティア活動をおこなっており、エステティック技術を通じて社会貢献における職業意識の向上を図っている。今後はソシオエステティックの普及にも努めたい。

* ソシオエステティック・医療・介護などの現場で行うエステティック技術

【ビューティスタイリスト学科】

ボランティア活動においては、特定のコースに、偏りがちなところがあるため、今後はコースに限らず、少しでも社会貢献できる内容を考え、積極的に参加するよう促していきたい。

【ブライダルスペシャリスト学科】

学生のボランティアを奨励、支援しているが、周辺の美化運動が現状である。前橋市の活動等で、出来ることから奨励をしていく。

【広報・キャリア部】

地域団体、高等学校、また福祉施設等のボランティア依頼については学校スケジュールを勘案の上、可能な限り積極的に参加を行っている。今後も引き続き、地域とのコミュニケーションを強化し、地域貢献に努めていく。

【事務局】

学園として施設の活用や地域に対してのボランティア活動は積極的に行われている。事務局としてより協力できる体制をより一層高めていく。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
群馬ブライダルビジネス専門学校	平成22年7月30日	住谷 知彦	〒371-0024 群馬県前橋市表町1-28-13 (電話) 027-289-5550																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人群馬県美容学園	平成9年3月27日	理事長 松本 一郎	〒371-0006 群馬県前橋市石関町136-1 (電話) 027-230-2266																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング学科	平成25年文部科学省告示第2号	平成〇年文部科学省告示第〇号																							
学科の目的	ブライダル業界は特殊な技能や知識が必要であり、本学科ではウェディングプランナーをはじめ、ドレスコーディネーターやフラワーコーディネーターなど実践的かつ専門的なカリキュラムの実施により、総合的な力を持つスペシャリストを養成を目的としています。																										
認定年月日	平成29年2月24日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2	昼間	1890時間	1400時間		490時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
40人の内数	24人の内数		4人の内数	11人の内数	15人の内数																						
学期制度	■前期: 4月1日から9月30日 ■後期: 10月1日から3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、レポートの内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案する																						
長期休み	■学年始め: 4月3日 ■夏季: 7月27日から8月27日 ■冬季: 12月23日から1月8日 ■学年末: 3月10日		卒業・進級条件		進級: 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を取得したものの。また、納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 卒業: 2年以上在学し、定める授業科目を履修し、67単位を修得したものの。また、納入すべき授業料その他の金額をすべて納入して																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人への電話・メール連絡、欠席理由の確認、保護者への連絡、生活状況の確認		課外活動		■課外活動の種類 自治会活動(通学路のボランティア等) ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 結婚式場やホテル、旅館等 ■就職指導内容 学生面談、進路相談、履歴書添削指導、求人情報の管理、提供、及び面接に関するアドバイスをを行っている。 ■卒業生数: 12 人 ■就職希望者数: 12 人 ■就職者数: 12 人 ■就職率: 100 % ■卒業生に占める就職者の割合: 100 % ■その他		主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フラワー装飾技能士 3級</td> <td>②</td> <td>12 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>ホスピタリティ検定</td> <td>③</td> <td>12 人</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>認定ウェディングスベシヤリスト</td> <td>③</td> <td>12 人</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>フランスタレントブライダルコーディネーター</td> <td>③</td> <td>12 人</td> <td>12 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	フラワー装飾技能士 3級	②	12 人	9 人	ホスピタリティ検定	③	12 人	12 人	認定ウェディングスベシヤリスト	③	12 人	12 人	フランスタレントブライダルコーディネーター	③	12 人	12 人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
フラワー装飾技能士 3級	②	12 人	9 人																								
ホスピタリティ検定	③	12 人	12 人																								
認定ウェディングスベシヤリスト	③	12 人	12 人																								
フランスタレントブライダルコーディネーター	③	12 人	12 人																								
中途退学の現状	■中途退学者 3 名 平成29年4月1日時点において、在学者30名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者27名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 早期個人面談の実施、保護者との連携強化。		■中途退学率 10 %																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度・・・特待生入試において成績・人物ともに優秀で、今後学業の継続が期待できるものに対し、授業料等の免除を受けることが出来る制度。学生支援制度・・・遠隔地より通学者や通学が困難で1人暮らしをする者に対し、新幹線通学支援や家賃支援を行う制度。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	URL: http://www.gunbi.ac.jp																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄とさせていただきます。

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を図り、ブライダル業界の動向やニーズ、現場で必要な知識や技術等をヒヤリングし分析した上で、本校の授業内容や方法の改善を行い、より専門性の高い教育を提供し、ブライダル業界で活躍する人材の育成に努める

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は学校法人群馬県美容学園教職員と企業関係者等の外部委員からなり、たがいの意見を十分に活かし、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置づける。また、意思決定の過程は以下の通りである。

【1:次年度の教育課程編成(方針やカリキュラムの決定)】

企業関係者等の外部委員より、専攻分野に関する業界の動向をヒヤリングし、委員会で協議、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。その方針を基に前年度の課題をふまえたカリキュラム等を決定し、教育課程の骨組みを完成させる。

その後、委員会構成員の本学園教職員によって、外部役員から集約した改善意見等を反映しつつカリキュラム等の詳細を決定する。

【2:当年度の教育課程編成の実績を検証、課題等抽出】

委員会構成員である学園職員により、在校生・担当講師からの意見・広報状況等の情報を収集し、委員会にて企業関係者等の外部役員へ開示する。そのうえで、現時点での問題点・改善点等を検証し、次年度へ向けた改善の基本方針を定める。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
石崎 みどり	ウェディングスビューティフル協会 事務局長	H29.4.1～H30.3.31	①
志村 嘉治	ホテル ラシーネ新前橋	H29.4.1～H30.3.31	③
住谷 知彦	群馬県美容専門学校 学校長	H29.4.1～H30.3.31	
高橋 憲一	群馬県美容専門学校 事務局長	H29.4.1～H30.3.31	
津久井 富美江	群馬ブライダルビジネス専門学校 教務部長	H29.4.1～H30.3.31	
加藤 恵利加	群馬ブライダルビジネス専門学校 教員	H29.4.1～H30.3.31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

開催頻度・・・年2回開催

(開催日時)

第1回 平成29年2月23日(木) 11:00～12:30

第2回 平成29年8月30日(水) 14:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

おもてなし検定などは、実際にブライダル、ホテルや旅館に必要な接遇であるとのご意見から、上級を目指すために演習を多く取り入れた。また、サービス業に必要な笑顔・敬語・コミュニケーションスキルのアップの為に日常会話から改善に努める。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携により、職業に対する意識やモチベーションを高め、実践的な知識や技術を学ぶことでブライダルスペシャリストとしての能力を培い、卒業後にブライダル業界で活躍できる人材の育成を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

冠稲荷神社 宮の森迎賓館 ティアラグリーンパレスの権宮司より参拝の作法、神道について、神前結婚式と雅楽、神社祭式行事作動等、日本文化やブライダル業界で従事していくために必要な知識や技術、立ち居振る舞いを教授して頂く。

(3) 具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
ブライダルコーディネーター実習	神社権宮司より参拝の作法、神道について、神前結婚式と雅楽、神社祭式行事作動等、日本文化やブライダル業界で従事していくために必要な知識や技術、立ち居振る舞いを教授して頂く。	冠稲荷神社 宮の森迎賓館 ティアラグリーンパレス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学生指導力を強化していくために、最先端のアイテムや業界の情報収集の為に各種団体が開催している教員資質能力を向上するための研修等へ積極的に参加させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ハワイ研修: ホテル・ブライダル視察研修、模擬挙式、ドレス研修(セントラルユニオン協会コートヤードでの模擬挙式、マサコフォーマルにてドレス研修、シェラトンワイキキ・ロイヤルハワイアン・モアナサーフライダー等、ホテル視察研修)
 横浜西洋館研修: ホテル視察研修、西洋館ウェディング会場視察(横浜グランドインターコンチネンタルホテル視察、横浜山手西洋館視察)
 新潟月岡温泉研修: スティーマナー研修、施設見学(ホテル華鳳にて業務体験と宿泊体験)

② 指導力の修得・向上のための研修等

BIA会員全国専門学校・大学・ブライダル教職員セミナー(ブライダル文化振興協会主催): ブライダルコーディネーター検定について
 ブライダル講師の為の研修会(ウェディングスビューティフル協会): アメリカンウェディングの最新トレンド、ドレスコーディネーター検定改定について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

軽井沢研修: 軽井沢のリゾートウェディングを学ぶ、教会・結婚式会場・ホテル視察と講演
 スティーマナー研修: ホテル、旅館の仕事を理解し、従業員の立場とお客様の立場の双方を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

ブライダルコーディネーター技能検定説明(ブライダル文化振興協会): ブライダルコーディネーター技能検定について
 全国専修学校各種学校総連合会 第49回北関東信越ブロック大会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校評価ガイドラインの項目に基づいて、学校教育活動等の総合的な状況について、学校関係者評価委員が基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念、目的、育成人材像、特色ある教育活動、将来構想
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、情報システム
(3) 教育活動	目標設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、教員・教員組織
(4) 学修成果	育成人材像に沿った成果が上げられているか、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、学生相談、学生生活、保護者との連携、卒業生への支
(6) 教育環境	施設設備等、学内外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金

(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

・退学者の低減について、学生間のコミュニケーションや楽しい環境づくりの指摘を受け、学生同士が楽しく感じるイベントの増加や退学理由の分析を十分に行い、早期面談などを行い改善に努めている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
山形 正喜	関東地区理容師美容師養成施設協議会 会	H29.4.1～H30.3.31	企業等委
宮上 修	タカラベルモント(株)高崎理美容営業所 所長	H29.4.1～H30.3.31	企業等委
大塚 嘉崇	冠稲荷神社 宮の森迎賓館 ティアラグリーンパレス 権宮司	H29.4.1～H30.3.31	企業等委員
新井 博	新井博法律事務所 弁護士	H29.4.1～H30.3.31	企業等委
富岡 政明	(有)富岡労務管理事務所 代表取締役	H29.4.1～H30.3.31	企業等委
山田 浩史	社会福祉法人 清栄会 清里荘 理事・施設長	H29.4.1～H30.3.31	企業等委

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.gunbi.ac.jp>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と連携・協力を推進する為に、学校の情報を提供し、企業との信頼関係をより深めるとともに、企業からの助言・指導を学校運営に取り入れ更なる学校発展を目指す

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神、教育目標、校訓、沿革、
(2)各学科等の教育	入学者数、総定員数、在学人数、カリキュラム、進級卒業要件、取得資格、卒業生数、卒業後の進路
(3)教職員	教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組み、企業との実習等の取組、就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組み、課外活動状況
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、修学支援の内容
(8)学校の財務	収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価報告
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.gunbi.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ウェディング学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ウェディング スペシャリス ト論	米国認定”認定ウェディングスペシャリスト”資格取得を目指し専門知識・ブライダルビジネス・顧客管理・語学・コミュニケーションスキルを学びます	1 通	80	5	○			○		○	△	
○			ウェディング プランナー論	日本におけるブライダルの歴史・慣習・専門用語をはじめ挙式披露宴に関するさまざまな知識を学びます。	1・ 2 通	60	3	○			○		○	△	
○			ブライダル マーケティング	社会の現状、地域の特性、お客様のニーズ、市場調査をもとに理解分析をし、企画販売に役立てられる方法と知識を学びます	2 通	30	2	○			○			○	
○			ホテルビジネ ス論Ⅰ	ホテル業務の基礎知識、フロント・宿泊・料飲・宴会業務を中心とした基本機能と特性を学びます	1 通	60	4	○			○		○		
○			ホテルビジネ ス論Ⅱ	ホテルの基本機能、マーケティング、マネジメント感覚などを学習。ホテル・ブライダルに関する業務を体系的に学び、ホテルビジネス実務検定1級対策授業も行います。	2 通	60	4	○			○		○		
○			レストラン サービス実務 Ⅰ	ホテル、レストラン、結婚披露宴で欠かすことの出来ない食事、料飲についての基本的な知識を技能、最高のサービスマナーを学びます。	1 通	60	3	○			○		○		
○			レストラン サービス実務 Ⅱ	ホテル、レストラン、結婚披露宴で欠かすことの出来ない食事、料飲についての基本的な知識を技能、最高のサービスマナーを学びます。	2 通	60	3	○			○		○		
○			ドレスコー ディネーター 論	婚礼衣装業務に係わる専門知識や流行、ドレスコーディネーターとしての基礎知識と、ベールやグローブ・アクセサリーとの相性や組み合わせを学びます。	2 通	30	2	○			○		○	△	
○			フラワー装飾 作業法	季節の花、花の特性、フラワー装飾の基本的な知識を学習します。ブーケ、ブートニア、アレンジメントフラワーなどに加え国家検定フラワー装飾技能検定の資格取得を目指します。	1 通	20	1	○			○			○	

○			コンピューターサービスⅠ	ビジネス文書の作成、表計算、パワーポイントなどのスキルを身につけ、資料作成、ペーパーアイテムの作成方法、プレゼンテーション資料作成などを学びます。	1通	60	3	○					○					○
○			コンピューターサービスⅡ	ビジネス文書の作成、表計算、パワーポイントなどのスキルを身につけ、資料作成、ペーパーアイテムの作成方法、プレゼンテーション資料作成などを学びます。	2通	60	3	○					○					○
○			TOEICⅠ	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価し、就職時の英会話能力の評価に用いられる検定の取得を目指し学びます。	1通	60	4	○					○					○
○			TOEICⅡ	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価し、就職時の英会話能力の評価に用いられる検定の取得を目指し学びます。	2通	60	4	○					○					○
○			ホテル英会話Ⅰ	外国のお客様とのコミュニケーションをスムーズに取れるよう、日常のホテルやレストランなどでよく使う英語をネイティブの講師により学びます。	1通	60	4	○					○					○
○			ホテル英会話Ⅱ	外国のお客様とのコミュニケーションをスムーズに取れるよう、日常のホテルやレストランなどでよく使う英語をネイティブの講師により学びます。	2通	60	4	○					○					○
○			中国語会話Ⅰ	中国からのお客様や、さまざまなシーンで必要とされる中国語を基礎から学び、想定される状況に応じた対応が出来るよう学びます。	1通	60	4	○					○					○
○			中国語会話Ⅱ	中国からのお客様や、さまざまなシーンで必要とされる中国語を基礎から学び、想定される状況に応じた対応が出来るよう学びます。	2通	60	4	○					○					○
○			カラーコーディネート	色彩の基礎、バランス、パーソナルカラーについての知識を学習し、感性だけでなく理論をもとに診断、配色テクニックを学びます。	2通	60	3	○					○					○
○			キャリアデザイン	自分の経験やスキル、将来像についてを考慮しながら、自らの持つ能力を生かすための仕事、職務の形成についてのアドバイスとサポートをします。	1・2通	30	2	○					○					○

○		ブライダル コーディネー ター実習Ⅰ	挙式・披露宴の流れを総合的に学び、専門知識の習得や職場環境の理解に務め、挙式から披露宴まで結婚식을学生たちで企画運営します。	1 通	30	1				○	○	○	△	○
○		ブライダル コーディネー ター実習Ⅱ	ホテル、ブライダルの業務内容を理解しアイテム、MC、選曲、音響、照明、映像など多岐にわたり学生の手で作成・運営することで身につけていきます。	2 通	30	1				○	○	○	△	○
○		ファッション & ビュー ティー実習	ブライダルにおけるビューティーの基礎知識を学び、就職活動に役立つクルートメイクなども実習により身につけます。	1 通	30	1				○	○	○		
○		リゾートウェ ディング実地 研修	リゾートウェディングで人気の高い地域の研究、視察し（サービス・プランニング・ドレスやブーケ）など、通常の挙式披露宴との違いを学びます。	1 ・ 2 通	60	2				○	○	△	○	△
○		海外ウエディ ング実地研修	ハワイ研修の際に、現地で行われるホテルやチャペルの視察、模擬挙式などを体験し、リゾートウェディングを学びます。	2 通	40	1				○	○	○		
○		レストラン サービス実習 Ⅰ	ホテル、レストラン、結婚披露宴で欠かすことの出来ない食事、料飲についての基本的知識と技能、最高のサービスマナーを学びます。	1 通	60	2				○	○	△	○	△
○		レストラン サービス実習 Ⅱ	料飲サービスにおける唯一の国家検定であるレストランサービス技能検定3級取得対策授業で資格取得を目指します。	2 通	60	2				○	○	△	○	△
○		フラワー装飾 作業実習	ブーケ・ブートニアを始め卓上装花、チャペル、ウェルカムボードなど、装飾方法を学び、国家検定フラワー装飾技能検定の対策授業も行います。	1 通	30	1				○	○			○
○		フラワー装飾 実習	メインテーブル、卓上装花、ハロウィン、クリスマスなどのアレンジメントから、テーマ別の装飾などを演習により習得します。	1 通	30	1				○	○			○
○		インターン シップ	企業で就業体験を行う。実際にお客様相手のサービスを学び、ビジネスパーソンとしての基本を身につけます。	1 通	30	1				○	○	○		
		ブライダル ファッション コーディネート	新郎新婦のお母様の衣装「留袖」の着付け方、着装、ドレスコーディネーターとして、必要な知識と技術、ヘッドドレスやアクセサリーに至るまでのトータルコーディネート技法やご提案方法などを学びます。	2 通	90	3				○	○	○		

○	ブライダルフラワーコーディネート	ブーケ・ブートニア、ブライダルフラワーアレンジメント、装花を使ったテーブルコーディネート、国家検定のフラワー装飾技能士2級の取得を目指します。	2通	90	3				○	○		○		
○	料飲サービス	サービスの方法だけでなく、カクテルやラテアートなど、幅広い知識を学びます。レストランサービス技能検定2級対応の実技も行う。	2通	90	3				○	○		○		
○	販売士論	多様化・高度化した顧客のニーズを的確に捉え、商品の開発や仕入れ、販売、物流などを効果的に行うことが出来る販売方法を学びます。	2通	90	3	○				○			○	
合計			41科目	1890単位時間(102単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
2年以上在学し、定める授業科目を履修し、102単位を習得したもの		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	21週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。